

大阪府における新生児聴覚スクリーニング後の経過調査に関する研究

1. 研究の対象

2013年1月から2017年12月までの5年間に新生児聴覚スクリーニング（NHS）後精査のために当院を含む大阪府下の精密聴力検査機関*を受診した児

(*大阪市立大学、大阪医科大学、関西医科大学、近畿大学、大阪母子医療センター、大阪府立総合医療センター、八尾市立病院)

2. 研究目的・方法

目的：新生児聴覚スクリーニング（NHS）後の検査のため精密聴力検査機関を受診した児の精密検査結果、補聴介入の状況を調査する。NHSの結果と精密検査の結果を比較することでNHSの精度を評価する。NHS後の検査および介入の状況を把握し、産科施設や行政機関にもフィードバックすることで、乳幼児医療の向上を目指す。

方法：診療録から性別、NHS施行時期、NHS検査方法、NHS結果、精密検査施行時期、精密検査方法、精密検査結果、補聴介入の状況、合併症を収集する。NHSの診断精度、難聴の程度ごとの補聴介入状況、合併症の有無による難聴有病率の差を解析する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、NHS施行時期、NHS検査方法、NHS結果、精密検査施行時期、精密検査方法、精密検査結果、補聴介入の状況、合併症 等

4. 個人情報の取り扱いについて

研究対象者のデータから氏名等の特定の個人を識別することができる記述等を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行う。研究対象者との符号（番号）を結びつける対応表は、当院または情報提供機関の個人情報管理者が外部に漏れないように厳重に保管する。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

〒565-0871 吹田市山田丘2-2

TEL：06-6879-3951

国立大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 太田有美